



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

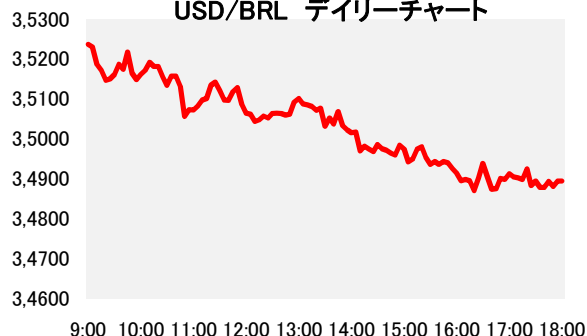
			5月31日	6月1日	6月2日	6月3日	6月6日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3,6110	3,6010	3,5930	3,5270	3,4890	-0,0380
	BRL/JPY	Spot	30,67	30,37	30,34	30,20	30,83	+0,63
	EUR/USD	Spot	1,1131	1,1189	1,1153	1,1367	1,1355	-0,0012
	USD/JPY	Spot	110,68	109,56	108,87	106,53	107,57	+1,04
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	13,790	13,700	13,725	13,710	13,667	-0,044
	Future	1Year(p.a.)	13,210	13,059	13,051	12,994	12,966	-0,027
	On-shore	6MTH(p.a.)	2,827	2,734	2,575	2,515	2,617	+0,102
	USD	1Year(p.a.)	2,973	2,833	2,708	2,660	2,707	+0,047
株式	Bovespa指数		48.472	49.013	49.887	50.620	50.432	-188
CDS	CDS Brazil 5y		364,60	360,88	352,82	337,48	332,60	-4,88
商品	CRB指数		186,153	186,825	188,025	188,669	191,270	+2,60

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

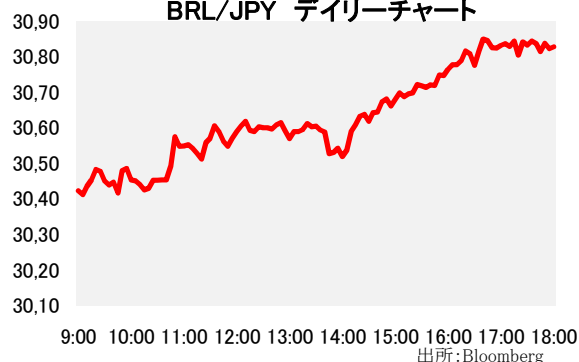
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
自動車生産台数	--	175.309	169.813
自動車販売台数	--	167.489	162.939
自動車輸出	--	46.895	37.851
貿易収支(週次)	--	\$813m	\$558m
(米)労働市場情勢指数	-0.8	-4.8	-3.4

USD/BRL デイリーチャート



BRL/JPY デイリーチャート



3. 要人コメント

イエレン米FRB議長	中長期的な物価安定と最大限の持続可能な雇用を確保するため、フェデラルファンド金利は時間をかけて緩やかに上昇しなくてはならないだろう
------------	---

4. トピックス

- 本日のリアルは3.5250で寄り付いた後、直ぐさま本日の安値となる3.5280を付けた。しかし先週の米雇用統計の結果を受けて次回のFOMCで利上げされる可能性が低下したことでドル売りが見られたほか、原油価格の上昇を受けてコモディティ通貨が買われると、リアルは終日じりじりと上昇した。引けにかけて本日の高値となる3.4860を付け、結局3.4890でクローズした。
- 本日発表されたブラジル中銀によるアナリスト予想集計では、2016年の経済成長率予想が-3.81%から-3.71%に、2017年予想は+0.55%から+0.85%に上方修正された。また、2016年のインフレ率予想は7.06%から7.12%に上方修正、2016年末の予想為替レートは3.65から3.68にリアル安方向へ修正された。
- 世界最大の原油輸出国であるサウジアラビアは大半の油種について7月積みのアジアと米国向け販売価格を引き上げた他、武装力による石油関連施設への攻撃が続いているナイジェリアで石油生産が落ち込んでいることを背景に原油相場は2%以上上昇、1バレル=50ドル近辺で推移した。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関する生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいませう、宜しくお願ひ申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。